



中国でアフリカ豚コレラの感染拡大中！

中国で、8月3日の初発から8月30日までに**5例アフリカ豚コレラ**が発生しました。死亡数は**約580頭**で**9400頭弱**の豚がとう汰されています。

については、引き続き飼養衛生管理基準の遵守と次の留意事項の徹底をお願いします。

《特に留意すべき事項》

①海外渡航の自粛

渡航した場合は、衛生管理区域には帰国後一週間立ち入らず、海外で使用した衣服及び靴を持ち込まない

②人・物・車両による持込み防止対策の徹底

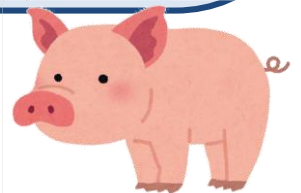
- ・衛生管理区域、豚舎に出入する際の洗浄・消毒
- ・人、物の出入りの記録
- ・生肉を含み、又は含む可能性がある飼料の加熱処理
(70℃以上で30分間以上、又は80℃以上で3分間以上)

③野生動物対策

- ・畜舎、飼料保管場所等への野生動物の侵入防止
- ・死亡家畜を保管する際は、野生動物に荒らされないよう適切に管理



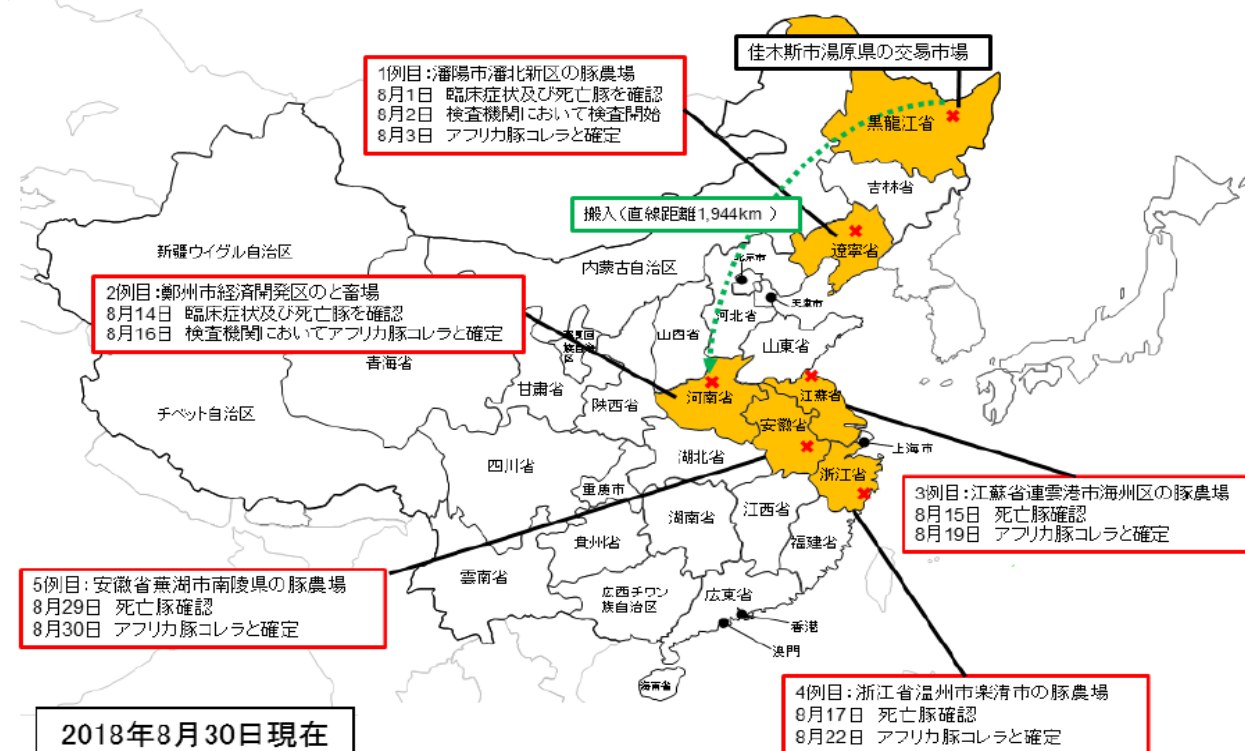
早期発見・早期通報をお願いします



我が国に本病が侵入するリスクが高まっています

アフリカ豚コレラは、原因となるASFウイルスが豚やいのししに感染する伝染病であり、発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病です。感染した動物は唾液や鼻汁中及び糞便にウイルスを排出します。ダニによる媒介や感染畜等への接触により伝播します。本ウイルスは、死亡した感染畜の血液、臓器、筋肉に3～6か月間残存するため、感染畜を他の豚が食べることにより感染することもあります。本病に有効なワクチンや治療法はなく、発生した場合の畜産業界への影響が甚大であることから、我が国の家畜伝染病予防法において「家畜伝染病」に指定されています。

中国におけるアフリカ豚コレラの発生状況



※ 中国当局からの情報を元に作成。

アフリカ豚コレラの症状・特徴

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40～42℃)、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。有効なワクチンはない。なお、人には感染しない。



死亡豚



チアノーゼ

写真出典：国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門